

学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるよう、その教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。

学校評価

令和8年度1学期末学校生活に関するアンケート結果 西予市立三瓶中学校

評価4：あてはまる 評価3：どちらかといえばあてはまる 評価2：どちらかといえばあてはまらない 評価1：あてはまらない

設問	質問内容	グラフ（保護者回答率96%）	%	評価4	評価3	評価2	評価1	肯定的割合	R71学期肯定的割合	評価・分析・改善策等
1	三瓶中学校の生徒は、学校で楽しく、充実した生活を送っている。		教職員	20%	80%	0%	0%	100%	100%	・教職員、生徒、保護者の9割以上が肯定しており、おおむね満足と言える結果ではありますが、更に一人一人が楽しく充実した生活を送ることができる学校を目指していきます。
			生徒	57%	37%	6%	0%	94%	92%	
			保護者	33%	60%	7%	0%	93%	93%	
2	三瓶中学校の生徒は、日々の授業の学習内容をだいたい理解できている。		教職員	0%	90%	10%	0%	90%	92%	・昨年度と同程度の結果となっていますが、保護者の否定的意見も多く、本校の課題の一つと言えます。引き続き教職員の研修を充実させ、「分かる、考える、伸びる」授業の実践に努めていきます。
			生徒	27%	66%	7%	0%	93%	89%	
			保護者	12%	66%	18%	4%	78%	78%	
3	三瓶中学校の生徒は、自分から進んで学習に取り組んでいる。		教職員	0%	80%	20%	0%	80%	67%	・保護者の肯定的な回答が減少しており、大きな課題と言えます。生徒が学習に意欲を持ち、主体的に学習に取り組むよう、生徒の学習への意欲を高め、生徒が主役となる授業実践を積み重ねます。
			生徒	23%	61%	15%	1%	84%	83%	
			保護者	12%	53%	33%	2%	65%	74%	
4	三瓶中学校の教員は、それぞれの生徒のよいところを認め、言葉や態度で伝えている。		教職員	40%	40%	20%	0%	80%	92%	・肯定的な回答の割合が昨年度より低下しています。一人一人の個性を尊重し、丁寧に関わるとともに、生徒に伝わるような働きかけを教員が行うことで、生徒の自己有用感を育てます。
			生徒	33%	58%	9%	0%	91%	96%	
			保護者	18%	62%	18%	2%	80%	89%	
5	三瓶中学校の生徒は、校則やスマホなどの学校のルールを守っている。		教職員	10%	70%	20%	0%	80%	92%	・生徒と教職員・保護者には大きな差があり、教職員・保護者からは守れていないと感じています。学校と家庭で連携をしながら、適切なSNS利用等についての指導を継続し、情報モラルの向上に努めます。
			生徒	75%	25%	0%	0%	100%	97%	
			保護者	22%	51%	20%	7%	73%	71%	
6	三瓶中学校の生徒は、いじめや差別をしない、許さないという態度で生活できている。		教職員	50%	20%	30%	0%	70%	100%	・生徒は肯定的な回答が多いものの、教職員・保護者の肯定的回答は低くなっています。引き続き、いじめや差別は絶対に許されるものではないことを全員で再確認し、いじめをしない、させない、許さない風土を醸成していきます。
			生徒	72%	27%	1%	0%	99%	95%	
			保護者	20%	64%	14%	2%	84%	77%	
7	三瓶中学校の生徒は、あいさつの習慣が身に付いている。		教職員	10%	60%	20%	10%	70%	84%	・保護者の肯定的な割合が改善されている一方で、教職員の肯定的割合は低下しています。今後も、あいさつの意義を生徒に理解させ、時と場に応じた挨拶ができる学校を目指していきます。
			生徒	44%	54%	2%	0%	98%	95%	
			保護者	29%	58%	10%	3%	87%	79%	
8	三瓶中学校の生徒は、地域や学校に誇りや愛着を持っている。		教職員	10%	70%	20%	0%	80%		・肯定的な回答が多くなっています。今後も学校の教育目標にもある「地域とともに歩む」学校を目指して、生徒が地域と接点を持ち、誇りや愛着を持てるような活動を推進していきます。
			生徒	34%	56%	9%	1%	90%		
			保護者	18%	66%	14%	2%	84%		
9	三瓶中学校の教員は、教え方を工夫し、わかりやすく教えている。		教職員	50%	40%	10%	0%	90%	100%	・肯定的な回答は多くなっていますが、個々の生徒に対して学習の個別最適化と、生徒の学力向上に向け、今後も、ICT等を効果的に活用し、常に授業改善に取り組んでいきます。
			生徒	40%	60%	1%	0%	100%	95%	
			保護者	13%	69%	17%	1%	82%	88%	
10	三瓶中学校の教員は、いけないことはいけないと指導している。		教職員	60%	40%	0%	0%	100%	100%	・全体的に高い肯定率となっています。今後も、生徒の自己肯定感を高めるとともに、一人一人とじっくり関わる中で、個に応じた適切な指導を行っていきます。
			生徒	63%	34%	2%	1%	97%	99%	
			保護者	26%	64%	10%	0%	90%	86%	
11	三瓶中学校は、いじめや生徒間のトラブルにきちんと対応している。		教職員	50%	50%	0%	0%	100%	100%	・生徒、保護者の肯定率は低下しています。保護者との信頼関係を構築しながら、生徒が安心できる学校づくりに努めるとともに、一つ一つのことに丁寧に対応し、いじめやトラブルの早期発見・早期解決に努めます。
			生徒	53%	38%	9%	0%	91%	95%	
			保護者	17%	62%	21%	0%	79%	82%	
12	三瓶中学校の部活動は、充実している。		教職員	20%	60%	10%	10%	80%	83%	・保護者の評価が低く、否定的な割合も一番高くなっています。地域展開も含め、学校、家庭、地域が対話を重ねながら、よりよい方向性を見付けていく必要があります。
			生徒	53%	27%	12%	8%	80%	86%	
			保護者	11%	27%	31%	31%	38%	48%	
13	三瓶中学校は、学校の様子や教育方針を家庭への連絡（通信、ホームページ、電話連絡、家庭訪問など）によってわかりやすく伝えている。		教職員	70%	30%	0%	0%	100%	100%	・教職員、生徒は、ほぼ全員が肯定しており、満足のいく結果となっています。今後も、保護者のニーズにも応えながら、各種通信やHP等で積極的に学校の情報を発信していきます。
			生徒	48%	51%	1%	0%	99%	98%	
			保護者	27%	61%	10%	2%	88%	92%	

本校では『主体的に学び、共に認め合い、未来を切り拓く生徒の育成 ～地域とともに歩む学校づくりを目指して～』を学校目標として、日々の教育活動に取り組んでいます。生徒は今年度91人で、少人数ならではのよさを生かし、一人一人の笑顔が輝く学校づくりと地域に貢献できる生徒の育成を目指しています。学校生活に関するアンケートをオンライン上で行い、保護者からの回答率は96%でした。

今回の評価では、「学校生活の充実感」や「地域への誇りや愛着」などで高い肯定的評価を得ることができました。これは、生徒・保護者・地域の皆様のご理解とご協力、そして教職員の継続した取組の成果であると考えています。一方で、「学習内容の理解度」や「自ら進んで学習に取り組む態度」については、引き続き改善を図る必要があることが明らかになりました。

これからの時代を生きる子どもたちには、自ら課題を見付け、考え、判断し、行動する力が求められています。その基盤となる主体的な学びを育むため、教職員が協働して授業改善に取り組み、生徒一人一人にとって「分かる・できる」を実感できる授業づくりを推進していきます。また、地域とのつながりを大切にしながら、地域から学び、地域に貢献する活動の充実を図り、地域とともにある学校づくりを一層推進してまいります。今後も、生徒が未来を切り拓く力を身に付け、自信と誇りをもって成長できるよう、教育活動の充実にも努めてまいります。